

青少年ゆざね

青少年育成湯沢市民会議 平成31年2月28日発行



▲ 平成30年度青少年育成湯沢市民大会



夢を描いて

青少年育成湯沢市民会議
会長 川村 忠司

今年の四月三十日で平成の時代は終わり、翌五月一日からは新元号に移行します。

この平成時代三十年間の最大の誇りは、なんといいっても、平和を保ち続けたことだと思います。私たちの日本では、七十三年間戦争はなかったのです。

現在、小・中・高校生の皆さんは、この平和な時代に誕生し、父母の愛情のもとに健康に育ってきました。実際、学業・スポーツの面においても、昨年度の活躍は素晴らしいものでした。本年も大きな夢の実現に向かって全力を注いでほしいと思います。

青少年の皆さん、人生には夢、希望がなければなりません。長い人生の体験の中には小さな失敗や苦勞はつきものです。でも、それを乗り越えてゆく活力を皆さんは持っています。学習・スポーツを通して、自分の進む道を確認、ためらわず進んでください。

私たち市民会議も、設立以来五十数年になりますが、市民皆様の御協力をいただき、いつそうの努力を続ける覚悟です。

次の世代を担う小・中・高校生の皆さんの健やかな成長を祈っております。



